

明日は今から変えられる

～自分らしさとは、自分が誇れるものとは～

皆さんはどうか分かりませんが、私は中学時代、他の人と比較して劣等感を抱くことが多々ありました。しかし、その感情は年を経るにつれて薄らいでいきました。

「自分らしさって何だろうか？」

「自分には誇れるものがあるのだろうか？」

今回の学校保健委員会で改めて振り返って見ました。

少なくとも他者と自分とを比較することで考えることではないと思います。

上記については、先月、大きな感動のもと大成功で幕を閉じた運動会を挙げて考えて見たいと思います。

皆さんは、運動会を通して、今までと違った自分に出会えたのではないのでしょうか？

<運動会感想から見る「いろんな自分」>

- ・3年生の気持ちから自分も変わらなければいけないと思う。
- ・こんなに自分を変えてくれた先輩はいない。
- ・運動会という苦手なことに向き合い、乗り越える。
- ・苦手な運動に逃げずに立ち向かうことができる。
- ・団長や団役員、ダンスリーダー、仲間に感謝する。
- ・思いっきりダンスに打ち込む。
- ・仲間のためにがんばろうと努力する。
- ・仲間の苦労やがんばりを認め、讃える。
- ・リーダーのおかれた立場を理解し、協力、応援する。
- ・仲間のがんばりから自分もがんばらなければと気づき、気持ちを切り替える。
- ・がんばれた自分に、自然と喜びが込み上げる。
- ・前向きな方向に気持ちを切り替える。
- ・必死に、無我夢中に声を出し、応援し、走る。
- ・野球部や校務員さんのグラウンド整備に感謝。
- ・全員の大勝利
- ・感動で涙が溢れる。最高の仲間。
- ・今までの自分と違った自分に出会える。

私は、皆さんが運動会で体験・体感した上記のことすべてが自分を誇れることだと思います。

目に見えるものだけで自分や他者を評価し価値付けるのではなく、内面の気持ちや心の変化、新たな気づき、行動などで自分や他者を評価し価値付けることが大切です。

多くの感動や満足感、充実感、やり切った感を味わえる運動会ができる安中の皆さんの絆が素敵です。絆は相手の思いに気づいたり、相手の思いをわかろうとしたりする気持ちがないと生まれません。

最後に、私にとっての誇りは、皆さんと一緒にいることです。皆さんのおかげで、教師として幸せな空間の中で過ごさせていただいています。ありがとう。

皆さんには、いつまでも「安中プライド」をもって、チャレンジ精神をもって前へ進んで行ってほしいです。

人間には自分でもまだ気づかぬ大きな力、可能性を秘めている。その力、可能性を引き出すためにも、今やるべきことに向き合い、やり切ろう。